

---

# High and Life

ペペロン・チーフ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

H i g h a n d L i f e

### 【ZPDF】

N7655A

### 【作者名】

ペペロン・チーフ

### 【あらすじ】

普段は無気力人間だけど、興味のあるコトには自分の持つてゐる力以上のものを發揮する（少し変わった？）高校生、雄大と英輝。そんなど等のひと夏の青春物語。

## 第一話・～始まり～

「……どうや!? 見えるか?」

「せかすなよ!! 集中できんだるが。」

いつもは騒がしそうなサッカー部の部室も今日ばかりはしんと静まり返っている。

「おおお!! スゲ!! 見えたるよ。丸見えバイ!!」

「マジや!! どう、ちょっと俺にも見せてん。」

夏休み13日目にしてやっと女子テニス部とサッカー部を繋ぐ夢のトンネルが開通したことで、俺と英輝のテンションは今までにないくらいハイになっていた。……ん!? お前は誰だつて? 人に何かを尋ねる時は自分の事を先に話せってあんたは親から習わなかつたのか? まつたく親の顔を見てみたいもんだ。……つとっても、俺も正直ひとりひとり自己紹介されるとめんどくさい。だから今回は特別に俺から自己紹介しようと想つ。

## 第一話・～我輩はバカである～

俺の名前は修司。  
しゅうじ

熊本の高校に通つてゐる。

今年で高3になつたんだけぢやつてることは入学した頃となんも変わつてない。朝起きて、学校いつて（まあ学校行つても寝るんだけど）部活行くんだけどぢやつぱりここでもさぼつて……んで、家帰つて寝る。その繰り返し。夢中になれるもんがなにもない今時の高校生。だから親も友達も決まつて俺をバカ扱いする。最近じゃそれを否定するのもだるくなつてきて、軽く自分でもバカなんだなあつて認め るようになつてきた。

でもそんな俺を普通の人間として見てくれるやつもいる。  
幼なじみの英樹だ。こいつは性格はいいんだけど俺を凌ぐバカ。中学の夏休みにドラクエの発売日の一ヶ月前から店の前で待つていたというあまり誇れない伝説をもつてゐるつわものだ。

そんな俺らの共通点は、やりたい事に対しても凄まじい力を發揮 するということ……それは自分でも認識できるほど凄さでの凄さ でそんな時の俺達はキン肉マンとテリー・マンのタッグチームぐらい の強さを……んつー？話が長い？まあ……確かにおしゃべりがすぎ たか。  
それより今まさに2年越しの野望が叶う寸前なんだから少しの間だけ黙つて俺達のことを見守つてほし い。えつ？その野望はなんだって？君達はなんでも知りたがるな あ（笑）実は俺と英輝がやりたくもない部活に入つてゐるのには深い 深い意味があるのだよ。

テニス部にすつごくかわいい女の娘がいんの！名前は美空。  
みそら

その娘の着替えをばれずに、かつ大胆に覗くために俺達はテニス部 の部室が隣にあるサッカー部に入つて、先輩達に怒られないように 最高学年になるまで我慢をし、なおかつ貴重な夏休みをけずりなが らせつせと部室の壁に穴を空けてたわけよ。しかも英輝との打ち合

わせでどの角度にどのくらいの穴の大きさがベストが計算したしな。  
やっぱ、いつも時の俺達ってスゲェなあつてつくづく思うよ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7655a/>

---

High and Life

2010年12月26日20時53分発行